

相模原の美術年表

2017/12/8更新

1875(明治8)年		日本画家 片野湘雲が上溝村(相模原市)に生まれる。
1925(大正14)年		各地を放浪していた片野湘雲が上溝町(相模原市)に帰郷して居を構える。
1926(大正15)年		片野湘雲が荒木十畝らを招いて上溝の宝光寺で書画会を開催
1927(昭和2)年		片野湘雲が「相陽美術倶楽部」を設置
1928(昭和3)年	7月	片野湘雲が上溝の天王祭で作品展を開催
1929(昭和4)年	4月	吉川啓示、志村陸制、石井好次、内田純一が片野湘雲の門下となる。
1930(昭和5)年	4月	片野湘雲が「湘雲画塾」を開く。
1933(昭和8)年	9月	伊藤弘人、山本松枝・梅枝が「湘雲画塾」に入門 吉川啓示が絵画修行の旅(遊歴)に出る。
1941(昭和16)年	4月	2町6村の合併により相模原町が誕生
	12月	太平洋戦争(～1945(昭和20)年8月)
1945(昭和20)年	11月	伊藤弘人、宮崎行望らが「相模自由画会」(現在の「相模原市美術協会」)を設立。第1回展を上溝町内会館で開催
1947(昭和22)年	11月	吉川啓示、伊藤弘人が横浜美術展(ハマ展)に初入選
1948(昭和23)年	5月	第1回「相模自由画会展」を上溝振興会館で開催(5/4-5/5)
	9月	伊藤弘人が日本美術院展(院展)に初入選
1951(昭和26)年	11月	相模原町が第1回「相模原町民文化祭」(現在の「相模原市民文化祭」)を開催 「相模自由画会」を「さがみ美術」に改称。第1回「さがみ美術展」を上溝公民館で開催(11/20-11-22)。同展全作品を患者慰問のため国立相模原病院で展示。高松宮ご夫妻が観覧(11/25)
1953(昭和28)年		吉川啓示が日本美術院展(院展)に初入選
1954(昭和29)年	11月	相模原市市制施行
1960(昭和35)年	9月	山本松枝が日本美術院展(院展)に初入選
1961(昭和36)年	5月	長友武子らの絵画グループ「こんばにえろ」がグループ展を開催
1966(昭和41)年	3月	第1回神奈川県美術展で平本宣子が入選 相模野病院にて高木辰夫が野外作品展を開催
1969(昭和44)年		市役所前庭に井上信道「創造」を設置
1970(昭和45)年		第1回「勤労者美術展」を市民会館で開催
1973(昭和48)年	6月	溪松園に難波孫次郎「美のりの像」を設置
1974(昭和49)年	11月	吉川啓示が院展の特待に推挙され無鑑査となる。 有志主催「吉川啓示院展特待記念展」を市民会館で開催 岩橋英遠が相模原市民文化彰を受賞
1975(昭和50)年	1月	第1回「市立小中学校美術展」(現在の「造形さがみ風っ子展」)を開催
1976(昭和51)年	9月	伊藤弘人が院展の特待に推挙され無鑑査となる。
1977(昭和52)年		江成常夫が日本写真協会賞新人賞を受賞
	10月	相模原市勤労者文化祭が始まる。
	12月	県立近代美術館主催「近代絵画巨匠展」を市民会館で開催(12/7-12/21)
1978(昭和53)年	4月	上條陽子が女性初の安井賞を受賞
	6月	麻溝公民館に陶山定人「岬」を設置
	12月	県立近代美術館主催「第2回近代絵画巨匠展」を市民会館で開催(12/2-12/10)
1979(昭和54)年	11月	「造形さがみ風っ子展」開催(小中学校美術展)を改称(～現在) 吉川啓示が相模原市民文化彰を受賞
	12月	県立近代美術館主催「現代日本の絵画展」を市民会館で開催(12/1-12/9)
1980(昭和55)年		江成常夫が第6回木村伊兵衛写真賞を受賞
	3月	相模原市が「収蔵美術品収集基金」を設立(3/27)
	4月	鈴木数馬主催「大相模美術展」を大正堂で開催
	11月	県立近代美術館主催「現代日本洋画の名作展」を市民会館で開催(11/29-12/7)
1981(昭和56)年	4月	市立あじさい会館が開館(展示室併設) 市教委主催「日本画三人展」(岩橋英遠、吉川啓示、伊藤弘人が出品)をあじさい会館で開催(4/18-4/26)
	9月	高齢者対象の「あじさい大学」が開講。伊藤弘人が日本画コース講師となる。 相模原市が上條陽子「玄黄・彷徨」「玄黄・呂」「玄黄・律」「玄黄・環」を収蔵
	11月	相模原市が伊藤弘人「崖」「風化」、岩橋英遠「双壁・那智」「双壁・華厳」、吉川啓示「夕映」「樹齡と街」を収蔵

相模原の美術年表

2017/12/8更新

1982(昭和57)年	1月	県立近代美術館主催「ヨーロッパ巨匠版画展」をあじさい会館で開催(11/28-12/6)
	5月	市教委主催「長嶋南龍・片野蕙石・野頭荘雲・斉藤青鳥 書四人展」をあじさい会館で開催(1/26-2/3)
	7月	市教委主催「招待作家美術展」(11名出品)をあじさい会館で開催(7/21-8/1)
	11月	県立近代美術館主催「近代日本の水彩・デッサン展」をあじさい会館で開催(11/27-12/5)
1983(昭和58)年	12月	西門商店街が岡本太郎「呼ぶ 赤い手・青い手」を設置
	1月	市教委主催「長嶋南龍・富岳凌雲・服部馨香 書三人展」をあじさい会館で開催(1/22-1/30)
	2月	相模原市が成田禎介「雪と河畔の町」「河口の港」を収蔵
	5月	市教委主催「新鋭作家美術展 安井賞の人々」(相吉沢久、遠藤原三、遠藤彰子、上條陽子、成田禎介が出品)をあじさい会館で開催(5/28-6/5)
	6月	相模原市が相吉沢久「公園通り」、遠藤原三「旅立ち」、遠藤彰子「都会」、上條陽子「玄黄・踊」、成田禎介「停泊」、吉川啓示「残照」を収蔵
	8月	「さがみ美術協会」が公募展を開始(以後、現在まで毎年)
	9月	市教委主催「市収蔵美術品展」を大野南公民館で開催
	10月	第20回「神奈川県美術展」野外彫刻部門が県立相模原公園で開催され、高嶋文彦作「待合室のベンチ」が相模原市長賞を受賞
	11月	市民健康文化センターに新宮晋「風の庭」を設置 県立近代美術館主催「近代中国の木版画展」をあじさい会館で開催(11/26-12/4)
1984(昭和59)年		横山公園にモニュメント「無限」を設置
		江成常夫が第52回毎日広告デザイン賞を受賞
	5月	市教委主催「招待作家美術展」(岩中徳次郎、勝田寛一が出品)をあじさい会館で開催(5/26-6/3)
		市南合同庁舎に陶山定人「真心」を設置
	6月	県立相模原公園に小田襄「風景...緑の夢」を設置
	7月	相模原市が成田禎介「あじさい」を収蔵
	9月	県立近代美術館主催「ポーランドの現代ポスター展」をあじさい会館で開催(9/21-9/30)
	11月	発起人会主催「吉川啓示院展30回記念展」を市民会館で開催(11/14-11/15)
1985(昭和60)年	12月	「神奈川県美術展入賞者作品巡回展」をあじさい会館で開催
		江成常夫が第4回土門拳賞を受賞
	1月	市教委主催「招待作家書道展」(16名出品)をあじさい会館で開催(1/26-2/3)
	6月	県立近代美術館主催「彫刻家たちの版画展」をあじさい会館で開催(6/6-6/16)
	7月	市教委主催「片野湘雲展」をあじさい会館で開催(7/13-7/21)
	11月	伊藤弘人が相模原市民文化彰を受賞
1986(昭和61)年	1月	けやき会館に陶山定人「愛の花束」を設置 発起人会主催「相模原文化彰受賞記念伊藤弘人展」をあじさい会館で開催(1/22-1/23)
	3月	市教委主催「相模原市の現代書家展'86」をあじさい会館で開催(1/25-2/2) 遠藤彰子が安井賞を受賞 相模原市が高嶋文彦「待合室のベンチ」を収蔵(相模大野駅駅前広場に設置。後に横山公園に移設)
	4月	「さがみ美術」を「さがみ美術協会」に改称(現在の「相模原市美術協会」)
	5月	県立近代美術館主催「シャガール版画展」をあじさい会館で開催(5/28-6/8)
	6月	相模原市が遠藤彰子「迷宮の街」を収蔵
	9月	市教委主催「市収蔵美術品展」を大沼公民館等で開催
	11月	吉原洋子が「沿線アート」を創刊 市教委主催「現代彫刻家5人展」(天野裕夫、小泉勝雄、後藤良二、陶山定人、高木辰夫が出品)を健康文化センターで開催(11/8-11/19) 市主催「相模原市・無錫市友好都市締結一周年記念 無錫書道展」を相模原市民会館で開催(11/7-11/9)

相模原の美術年表

2017/12/8更新

1987(昭和62)年	1月	市教委主催が「現代書家展」をあじさい会館で開催	
	3月	相模原市が遠藤原三「昆虫のいる構図」を収蔵	
	7月	県立近代美術館主催「今日の神奈川の画家たち()」をあじさい会館で開催(7/1-7/9)	
	9月	市教委主催「市収蔵美術品展」を相武台公民館等で開催	
	10月	相模原市が岩橋英遠「記録1」「記録2」を収蔵	
1988(昭和63)年	11月	民間ギャラリー「ギャラリーえんせん」開廊。「松山徹展」を開催 市教委主催「大川泰央・風祭竜二 版画・切り絵展」をあじさい会館で開催(11/14-11/23)	
	12月	相模原市が天野裕夫「進化親類」、岩中徳次郎「Work81-27B」「捻」「森の唄」を収蔵	
	1月	市教委主催「無錫書道展」をあじさい会館(1/23-31)、大野南公民館(2/9-2/11)、東林公民館(2/19-2/21)で開催	
	2月	相模原市が後藤良二「球体上の螺旋運動」「720°のディスクリネーション」「放射する世界(エスキース)」を収蔵	
	3月	相模原市が山本松枝「縫う」「菜園」「吊り鉢を持つ」を収蔵	
	10月	市教委主催「ぬくもり彫刻展」をあじさい会館で開催 ロビーシティ相模大野「市民ギャラリー」(現在の「相模大野ギャラリー」)開館。 「市収蔵美術品展」を開催 相模大野市民ロビーに児玉慎憲「いぶき」を設置 淵野辺公園にモニュメント「集まるうみどりの仲間たち」を設置	
	11月	市教委主催「現代工芸家3人展」(石塚末豊、ギルメット・オーゼ-ルプラ、関田栄也が出品)をあじさい会館で開催(11/19-11/27)	
	12月	県立近代美術館主催「ドラクロワとドーミエ版画展」をあじさい会館で開催(12/1-12/8)	
	1989(平成1)年	1月	相模原市が伊藤弘人「野仏」「籠る」「洞窟の石仏」「明」「閑」「装飾古墳」「彩(装飾古墳)」「浄光」を収蔵 市教委主催「相模原市の現代書家展」(1/28-2/5)をあじさい会館で開催
		6月	県立近代美術館主催「なつかしい風景展『東京風景』と『新日本百景』」をあじさい会館で開催(6/22-6/29) 岩中徳次郎 没(92歳)
9月		相模原市が岩橋英遠「静日1」「静日2」を収蔵 中国画専門民間ギャラリー「ギャラリー未来」が開廊	
1990(平成2)年	1月	グリーンホール相模大野が開館(ホールの緞帳原画は岩橋英遠「群翔ぶ」、三岸節子「エッフェル塔」) 市教委主催「市収蔵美術品展」をグリーンホールで開催	
	2月	市教委主催「江成常夫写真展」をグリーンホールで開催(2/3-3/4)	
	4月	女子美術大学相模原キャンパスオープン	
	6月	県立近代美術館主催「一原有徳版画展」をグリーンホール相模大野で開催(6/21-6/28) 相模大野図書館に後藤良二「回帰(Recurrence)」を設置	
	8月	民間の宝石画ギャラリー「ドリームアート現行」が開廊 市役所前庭に波多野泰義の平和のモニュメントを設置	
1991(平成3)年	1月	市教委主催「市収蔵美術品展」をあじさい会館で開催	
	2月	服部漁舟が私設ギャラリー「花水美術館」を開設	
	3月	市教委主催「文化祭受賞者絵画展」をあじさい会館で開催 原当麻駅前に林利根「水」を設置	
	6月	県立近代美術館主催「マティスとフランス近代版画展」をあじさい会館で開催(6/20-6/27)	
	9月	「相模原芸術家協会」設立(会長吉川啓示、陶山定人、上條陽子、吉原洋子らが参加)	
1992(平成4)年	10月	グリーンホールに陶山定人「陽かがやいて」を設置	
	1月	市教委主催「市収蔵美術品展」をあじさい会館で開催	
	2月	市教委主催「吉川啓示相模原百景展」をあじさい会館で開催 民間ギャラリー「ギャラリースペース游」が開廊。「島田稔展」を開催	
	3月	市村章・望月あきら「相模原むかしむかし漫画展」をグリーンホールで開催	

相模原の美術年表

2017/12/8更新

1993(平成5)年	5月	天野裕夫、後藤良二、松本雄治らが「広場の彫刻を考える展」とシンポジウムを開催 県立近代美術館主催「山口蓬春素描展」をあじさい会館で開催(5/14-5/21) 相模大野ギャラリーで「広場と彫刻を考える」展を開催 麻溝公園に「少女と盲導犬」を設置
	7月	市教委主催「上條陽子・遠藤彰子2人展」をあじさい会館で開催(7/8-7/15) 相模原芸術家協会が第1回「相模原芸術家協会展」をグリーンホール相模大野で開催(以後、毎年)
	1月	市教委主催「市収蔵美術品展」をあじさい会館で開催
	2月	相模原市が遠藤彰子「見つめる空」、上條陽子「くつ・1」「くつ・2」「くつ・3」を収蔵
1994(平成6)年	4月	民間ギャラリー「ギャラリートニー」開廊。「森永一郎展」「横田瑛子展」を開催 第1回「彫刻家リレー展」をギャラリースペース游で開催 相模原市が上條陽子「み・の・り」を収蔵
	6月	市教委主催「市収蔵美術品展」をあじさい会館で開催
	9月	陶山定人らが「生活の中の彫刻展」を大正堂で開催
	2月	市教委主催「現代いけばな芸術展」をグリーンホールで開催(2/17-2/20)
	4月	後藤良二、川嶋茂雄らが第1回「公園と彫刻。」を相模大野中央公園で開催
	5月	相模原市が岩橋英遠「暁雲1」「暁雲2」を収蔵
	6月	女子美術大学に「女子美アート・プラザ」を開設 実行委員会主催「市村章・望月あきらの大漫画博」を大正堂で開催
1995(平成7)年	11月	市教委主催「市収蔵美術品展」を相模大野ギャラリーで開催 岩橋英遠が文化勲章を受章
	12月	私立美術館「光と緑の美術館」(館長鈴木正彦)が開館。「ペリクレ・ファツィーニ展」を開催
	12月	市教委主催「岩橋英遠・岩橋崇至二人展」を女子美術大学資料館で開催(12/3-12/14)
	3月	江成常夫が第37回毎日芸術賞を受賞 民間ギャラリー「リベルティ・フサ」が開廊
	5月	市教委主催「市収蔵美術品展」をあじさい会館で開催 細谷玉江が「ギャラリーヴェルジェ」を開廊。「青葉木菟展」を開催
1996(平成8)年	8月	高木辰夫が私設ギャラリーを開廊(現在は閉廊)
	1月	市教委主催「相模原の現代書家展」をあじさい会館で開催(1/24-2-9)
	6月	相模原市が岩橋英遠「春土」を収蔵 市教委主催「市収蔵美術品展」を市立博物館で開催 「大村俊二ガラス彫刻展」を光と緑の美術館で開催
	9月	「相模原芸術家協会創立5周年記念展」を市立博物館で開催
1997(平成9)年	12月	相武台公民館に陶山定人「爽朝」を設置
	1月	市教委主催「相模原の抽象絵画展」を市立博物館で開催(大貫博、小原義也、後藤公一、佐佐木幸一、進藤裕代、菅沼稔、秦加奈子、幡谷純、藤沢晴、細谷玉江、横田瑛子が出品)
	4月	「星野敦彫刻展 情熱発電所」を光と緑の美術館で開催
	6月	市教委主催「江成常夫写真展 満州・ヒロシマ」を市立博物館で開催
	9月	市民ロビー相模大野「市民ギャラリー」を「相模大野ギャラリー」に改称(9/1)
	10月	相模原市が大貫博「宙」、小原義也「WORK96-NO.5」、後藤公一「Frontal 96-」、佐佐木幸一「'96. Autumn」、進藤裕代「ROAD(旅の追憶)」、菅沼稔「Paraphrase・9」、秦加奈子「遊」、幡谷純「EL-ĀKHERA」、藤沢晴「空に翔ぶ'93」、細谷玉江「空の旅人」、横田瑛子「生のテーマ『エンドレス』」を収蔵 相模原駅ビル内にシティプラザさがみはら開業(10/30)
	11月	相模原駅ビル内に「相模原市民ギャラリー」開館。市教委主催「市収蔵美術品展」を開催(11/1~11/30)
1998(平成10)年	1月	市教委主催「市民ギャラリー開館記念 描かれた花・ゴッホからモンドリアン」を開催(1/10-3/8)
	4月	陶山定人が相模原芸術家協会会長に就任
	6月	市教委主催「市収蔵美術品展」を市民ギャラリーで開催
	8月	市教委主催「版画の技法と美の世界」を市民ギャラリーで開催

相模原の美術年表

2017/12/8更新

	9月	光と緑の美術館・スペース遊など民間ギャラリーが集結して「アート・ラリーinゆめ国体」を開催 みちの協会主催「第1回みちの造形展」を市役所さくら通りで開催(以後、2007年まで毎年)
1999(平成11)年	3月	県立弥栄東高等学校「第1回アトラライブ校外公演」を開催
	6月	市教委主催「相模原ゆかりの作家たち」を市民ギャラリーで開催
	7月	日本画家 岩橋英遠 没(96歳)
2000(平成12)年	11月	陶山定人が相模原市民文化彰を受賞
	1月	市教委主催「日本画で描く 四季の詩情」を市民ギャラリーで開催 相模原市が岩橋英遠「風樹石眠(寒山拾得)」を収蔵
	2月	市教委主催「江成常夫写真展」をグリーンホール多目的室で開催
	8月	市教委主催「永遠なる大ロマン 岩橋英遠」を市民ギャラリーで開催
	12月	市教委主催「江成常夫写真展 昭和史の風景」を市民ギャラリーで開催
2001(平成13)年		ウェルネスさがみはらに田村俊明「W」を設置 江成常夫が日本写真協会賞年度賞を受賞 江成常夫が第50回神奈川文化賞を受賞
	1月	市教委主催「相模原招待作家展 市収蔵美術品を中心に」を市民ギャラリーで開催
	6月	相模原市が上田薫「なま玉子Q」「流れL」を収蔵
	7月	市教委主催「7 Artists style/life」を市民ギャラリーで開催
	8月	市教委主催「モリワキット・エキスポ2001」を市民ギャラリーで開催 「相模原芸術家協会創立10周年記念展 無錫市美術交流」を市民ギャラリーで開催
	9月	大貫博、小原義也、菅沼稔、横田瑛子らが美術集団「CAT」設立 第1回CAT展をグリーンホール相模大野多目的ホールで開催(以後、2010まで毎年)
	10月	女子美術大学内に「女子美アートミュージアム(JAM)」を開館
	11月	江成常夫が相模原市民文化彰を受賞 「相模原総合写真祭フォトシティさがみはら」を実施。プロの部・アマの部受賞作品展を市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 広河隆一「チェルノブイリ消えた458の村」 さがみはら写真新人奨励賞 勝又邦彦「Phases」「Unknown Fire」 さがみはら写真新人奨励賞 萩原義弘「巨幹残栄」「SNOWY」 さがみはら写真新人奨励賞 若木信吾「young tree」「Takuji」 杜のホールに後藤良二「循環・メビウス」を設置
2002(平成14)年	10月	相模川ビレッジ若あゆに堤一彦「HIKOBAE」、渡部一重「積み木あそび」を設 さがみはら写真賞 鬼海弘雄「しあわせ インド大地の子どもたち」 さがみはら写真アジア賞 劉錚「國人」 さがみはら写真新人奨励賞 今岡昌子「Re・Birth～ガレキの隣のオンナたち」 さがみはら写真新人奨励賞 菊池修「LIGHT IN THE SHADOW」
	1月	市教委主催「近現代の女性作家展 相模原女性画壇と女子美の100年」を市民ギャラリーで開催
	4月	相模原市が岩橋英遠「飛泉羽衣」を収蔵 市教委主催「日常解体新書」(第1期学生企画展)を市民ギャラリーで開催
	6月	市教委主催「江成常夫写真展 時代の肖像・昭和史の主役たち」を市立博物館で開催
	8月	市教委主催「涼を呼ぶ旅と風景(市収蔵美術品展)」を市民ギャラリーで開催
	10月	「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2002」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催
	11月	市教委主催「秋慕・竹久夢二展」を市民ギャラリーで開催 江成常夫が紫綬褒章受章
2003(平成15)年	12月	相模原市が上田薫「コップの水G」「コップの水H」「コップの水I」を収蔵
	1月	相模原市が江成常夫「百肖像(時代の肖像)」を収蔵
	3月	市民ギャラリー内にミニ展示コーナー「アートスポット」を開設(ミニ個展等を実施) 相模原市が江成常夫「ニューヨークの百家族」を収蔵

相模原の美術年表

2017/12/8更新

2004(平成16)年	4月	桜美林大学がプラネット淵野辺キャンパスに池田満寿夫の「男と女」を設置
	8月	市教委主催「オープン・スタジオ」を市民ギャラリーで開催
	10月	「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2003」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 長倉洋海「ヘスースとフランシスコ」 さがみはら写真アジア賞 リー・ギャッチャル(이갑철)「衝突と反動」 さがみはら写真新人奨励賞 今井智己「真昼」 さがみはら写真新人奨励賞 亀山亮「PALESTINE」
	11月	市教委主催「自然その一瞬の輝き 上田薫」を市民ギャラリーで開催 民間ギャラリー「HCAG(ハシモトコーポレーションギャラリー)」開廊(現在の「Gallery Hart」)。「吉川啓示展」を開催
	12月	相模原市が江成常夫「ニューヨーク日記」を収蔵 淵野辺駅前に井上久照「飛翔」が設置
	1月	市教委主催「江成常夫写真展 ニューヨークの百家族」を市民ギャラリーで開催
	3月	相模原市が江成常夫「花嫁のアメリカ1」を収蔵
	4月	民間ギャラリー「アートコテージぱびるす」開廊(2007年閉廊)
	5月	民間ギャラリー「日世画廊」開廊 民間ギャラリー「癒しの海」開廊
	7月	女子美術大学主催「相模原市制50周年記念写真展 江成常夫 山河風光-相模川の四季」を女子美術大学アートミュージアムで開催
	8月	市教委主催「空のリレー」(第2期学生企画展)を市民ギャラリーで開催
	9月	「相模原芸術家協会展 トロント市美術交流」を市民ギャラリーで開催
2005(平成17)年	10月	「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2004」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 古屋誠一「alive」 さがみはら写真アジア賞 沈昭良「映像・南方澳」 さがみはら写真新人奨励賞 宇井眞紀子「アシリ・レラ(AsirRera)」 さがみはら写真新人奨励賞 高部心成「故郷松花江黒龍江省吟爾浜」 社のホールに陶山定人「照手姫像」を設置 橋本の歩道に内藤友博「倭万智歌碑モニュメント」を設置
	11月	市教委主催「相模原を愛した日本画家 吉川啓示」を市民ギャラリーで開催 相模原市が下水道工事防音壁に女子美術大学生の作品を展示 「市民の美術館を考える会」が市に要望書を提出(署名約7,000名)
	12月	市教委主催「相模原の美術50年(市収蔵美術品展)」を市民ギャラリーで開催 相模原市が江成常夫「山河風光 相模川の四季」を収蔵 相模原市が岩橋英遠「北辺夏晨」を収蔵 「美術芸術のまち」中央商店街主催「絵本コンクール」を開催
	2月	相模原市が江成常夫「まぼろし国・満州」を収蔵
	3月	相模原市が岩橋英遠「北の海(陽)」「北の海(氷)」を収蔵
	4月	民間ギャラリー「ギャラリーIVY」が開廊(現在は閉廊) 南保健福祉センターに陶山定人「明日えの道」を設置 相模大野中央公園管理棟のシャッターに女子美術大学生が壁画を制作
	8月	市教委主催「動物幻想国 5人の作家による立体造形」を市民ギャラリーで開催
	9月	麻溝公園多目的ホールで「パレスチナ子ども作品展」を開催
	10月	「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2005」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 後藤勝「絶望のなかのほほえみ カンボジアのエイズ病棟から」 さがみはら写真アジア賞 ドアン・コン・ティン「重要な瞬間 ベトナム戦争の写真資料」 さがみはら写真新人奨励賞 中里和人「路地」 さがみはら写真新人奨励賞 柳本史歩「栃尾に向かってアイル・ビー・ゼア」
	11月	市教委主催「立体作家11人展 時空を超えたメッセージ」を市民ギャラリーで開催
	2006(平成18)年	フォトシティさがみはら実行委員会が日本写真協会賞文化振興賞を受賞

相模原の美術年表

2017/12/8更新

	1月	日本画家 吉川啓示 没(95歳) 市教委主催「大川美術館コレクション展」を相模原市民ギャラリーで開催
	3月	津久井町と相模湖町が相模原市に合併 相模原市が江成常夫の「シャオハイの満州」を収蔵
	6月	相模原市が岩橋英遠の「朝には狐も散歩する」を収蔵 市立桜台小学校に教室美術館「桜台美術館」を設置
	8月	市教委主催「アートバカンス展～今年の夏はバカに熱い～」(第3期学生企画展)を市民ギャラリーで開催 藤野町牧郷ラボ(旧牧郷小学校)で第3回ひかり祭り開催
	9月	市教委主催「相模原市・津久井町・相模湖町 合併記念美術展」を神奈川県立相模湖交流センターアートギャラリーで開催 相模原芸術家協会が「第15回相模原芸術家協会展 トロント市美術交流2」を市民ギャラリーで開催
	10月	「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2006」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 桑原史成「水俣の肖像 公式確認から半世紀の節目」 さがみはら写真アジア賞 スラット・オスタヌグラフ「グッバイ・バンコク」 さがみはら写真新人奨励賞 石川直樹「THE VOID」 さがみはら写真新人奨励賞 上本ひとし「峠越え 2003.8.23～2005.2.28空景」
	11月	市教委主催「厚紙平面大劇場-上條陽子展」を市民ギャラリーで開催
	12月	市教委主催「相模原の現代絵画展-コレクションと新しい歩み」を市民ギャラリーで開催
2007(平成19)年	2月	華道家假屋崎吾吾による大作を相模大野駅ビルで展示 日比野克彦のプロデュースにより新相模原市PRイベントを実施
	3月	藤野町と城山町が相模原市に合併 遠藤彰子が文化庁芸術選奨文部科学大臣賞を受賞 相模原市が江成常夫「ヒロシマ万象」を収蔵
	5月	藤野「芸術の小径」に芸術家有志が案内ボードを設置
	7月	市主催「大谷有花×川田祐子 2人展～おしゃべりな色 思いだす色～」を市民ギャラリーで開催
	8月	相模原市が岩橋英遠「街」を収蔵
	10月	「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2007」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 渡邊博史が「私は毎日、天使を見ている。」 さがみはら写真アジア賞 スティーブン・リー「アウトサイド・ルッキング・イン・アラルンプール」 さがみはら写真新人奨励賞 青木弘「BORNUNDERFIRE 戦火の子どもたち」 さがみはら写真新人奨励賞 中田聡一郎「星のしゃぼん 砂守が育んだ故郷」
	11月	市主催 相模原市民ギャラリー開館10周年記念特別展「現代日本画の名品展～魅惑の箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション」を市民ギャラリーで開催
2008(平成20)年	1月	相模原市が江成常夫の「偽 満州国」「鬼哭の島」、吉村誠司の「プラットホーム」「収穫期」「秋日和」「竹富島の夜」「季節風」、吉川啓示「淡墨桜」、古川吉重「SOUND-3」「POETRY-8」を収蔵
	2月	第1回美術館検討委員会開催 市主催「江成常夫写真展 偽 満州国/鬼哭の島」を市民ギャラリーで開催
	3月	第2回美術館検討委員会開催
	5月	第3回美術館検討委員会開催
	7月	第4回美術館検討委員会開催
	8月	市主催「わたしはあなたが理解できない展 そこから始まるコミュニケーション」(第4期学生企画展)を市民ギャラリーで開催
	10月	「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2008」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催

相模原の美術年表

2017/12/8更新

		<p>さがみはら写真賞 中野正貴「MY LOST AMERICA」 さがみはら写真アジア賞 ランス・ブラウマントヨが「ソウル・オディッセイ」 さがみはら写真新人奨励賞 朝海陽子「Sight」 さがみはら写真新人奨励賞 元木みゆき「息の結び目」 第5回美術館検討委員会開催</p>
	11月	<p>市主催「2008(平成20)年度自主企画展 片野湘雲とその一門展」を市民ギャラリーで開催</p>
	12月	<p>第6回美術館検討委員会開催 市主催「吉川啓示-淡彩写生画百景展」を市民ギャラリーで開催</p>
2009(平成21)年	1月	<p>相模原市が江成常夫「花嫁のアメリカ2」を収蔵</p>
	2月	<p>相模原市が岩橋英遠の「鎮西之雄 菊池武時」を収蔵 市主催「相模原市収蔵美術品展～新コレクションと招待作家～」を市民ギャラリーで開催</p>
	3月	<p>第7回美術館検討委員会開催 美術館検討委員会が「相模原市の美術館にかかる提言書」提出</p>
	7月	<p>市主催「夏の企画展 おかえりアーティスト～ただいま展」を相模原市民ギャラリーで開催</p>
	8月	<p>彫刻家 陶山定人(相模原芸術家協会会長) 没(83歳) 上條陽子が相模原芸術家協会に就任</p>
	10月	<p>「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2009」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 伊奈英次「エンペラー・オブ・ジャパン」 さがみはら写真アジア賞 アミット・メーラ「INDIA A TIMELESS CELEBRATION」 さがみはら写真新人奨励賞 ERIC「中国好運GOOD LUCK CHINA」 さがみはら写真新人奨励賞 船尾修「カミサマホトケサマ」 市主催「秋の特別企画展 無限の創造力 秋竜山まんが祭り」を市民ギャラリーで開催</p>
	12月	<p>産業会館多目的ホールにおいて文化シンポジウム「第1部 市民文化都市の実現に向けて」「第2部 相模原市の美術館は何をするのか」開催 江成常夫が旭日小綬章受章</p>
2010(平成22)年	8月	<p>市主催「いないいないGO!」展(第5期学生企画展)を市民ギャラリーで開催</p>
	10月	<p>「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2010」を実施。プロの部・アマチュアの部・歴代受賞作家作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 石川直樹「ARCHIPELAGO」 さがみはら写真アジア賞 ムネム・ワシフ「SAL TWATER TEARS」 さがみはら写真新人奨励賞 蔵真墨「kura」 さがみはら写真新人奨励賞 染谷學「ニライ」</p>
2011(平成23)年		<p>フォトシティさがみはら実行委員会が日本写真家協会賞を受賞</p>
	3月	<p>民間文化振興団体「相鑑舎」発足</p>
	5月	<p>第1回美術館基本構想検討委員会開催</p>
	8月	<p>第2回美術館基本構想検討委員会開催 市主催「ぐるり相模原 美術の見晴らし台 ～相模原市収蔵美術品から学校所蔵作品まで～」を市民ギャラリーで開催</p>
	9月	<p>「相模原芸術家協会創立20周年記念 相模原市・トロント市友好都市締結20周年記念 第20回相模原芸術家協会展」を相模原市民ギャラリーで開催</p>
	10月	<p>「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2011」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 石川真生「FENCES,OKINAWA」 さがみはら写真アジア賞 ヴィージェイ・ヴィラフランカ「A Race Divided」 さがみはら写真新人奨励賞 白汚零「地下水道」 さがみはら写真新人奨励賞 本山周平「日本2001-2010」</p>
2012(平成24)年	1月	<p>第3回美術館基本構想検討委員会 市主催「江成常夫写真展 昭和史のかたち」を市民ギャラリーで開催</p>
	4月	<p>アートラボはしもと開館</p>
	5月	<p>第4回美術館基本構想検討委員会開催</p>
	8月	<p>第5回美術館基本構想検討委員会開催</p>

相模原の美術年表

2017/12/8更新

2013(平成25)年	9月	市主催「第6期学生企画展 ぞっこんの法則」をアートラボはしもとで開催	
	10月	市主催「風景観 見逃した世界・ここにある世界」をアートラボはしもとで開催 「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2012」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 北島敬三が「ISOLATED PLACES」 さがみはら写真アジア賞 イン・アング「You Think You're Safe Here」 さがみはら写真新人奨励賞 古賀絵里子「浅草善哉」 さがみはら写真新人奨励賞 笹岡啓子「Difference 3.11」	
	11月	市主催「銀河連邦交流25周年記念 はやぶさの故郷相模原×松本零士の世界展」を相模原市民ギャラリーで開催	
	3月	第6回美術館基本構想検討委員会開催 相模原市が江成常夫「昭和史のかたち」を収蔵 相模原市収蔵美術品展「あの日の相模原 吉川啓示『相模原百景』より」を光と緑の美術館で開催(光と緑の美術館主催)	
	7月	第7回美術館基本構想検討委員会開催	
	8月	市主催「相模原の女性画家展 時代を翔る女たち」を市民ギャラリーで開催	
	10月	市主催「第7期学生企画展 ごはんのおとも」をアートラボはしもとで開催 「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2013」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 志賀理江子「螺旋海岸」 さがみはら写真アジア賞 クルサット・ベイハン「AWAY FROM HOME」 さがみはら写真新人奨励賞 田代一倫「はまゆりの頃に」 さがみはら写真新人奨励賞 野村佐紀子「NUDE/AROOM/FLOWERS」	
	2014(平成26)年	2月	市主催「042 art area project 2013 スーパーオープンスタジオ」をアートラボはしもとで開催
		8月	美術館基本構想検討委員会答申 市主催「相模原市収蔵美術品展 岩橋英遠×吉村誠司展 日本画のチカラ」を相模原市民ギャラリーで開催
		10月	市主催「第8期学生企画展 たつまきエメラルド」をアートラボはしもとで開催 「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2014」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 オサム・ジェームス・中川「GAMA CAVES」 さがみはら写真アジア賞 キショール・シャルマ「霧とともに暮らす - ネパール最後のノマド」 さがみはら写真新人奨励賞 林ナツミ「本日の浮遊」 さがみはら写真新人奨励賞 林典子「キルギスの誘拐結婚」 「女流画家協会相模原展」(第1回)を相模原市民ギャラリーで開催
11月		市主催「042 art area project 2014スーパーオープンスタジオ」をアートラボはしもとで開催	
12月		遠藤彰子が紫綬褒章受章 相鑑舎主催「光景の翻訳、眼差しの在り方 成田禎介展」を市民ギャラリーで開催	
2015(平成27)年		7月	江成常夫が酒田市特別功労表彰を受賞 市主催「江成常夫写真展 母国は遥かに遠く 戦争孤児と戦争花嫁」を市民ギャラリーで開催
		8月	市主催「抽象 2つの感性 上條陽子 真島明子 展」を市民ギャラリーで開催
		9月	市主催「第9期学生企画展 数でこころ、動くんだ」をアートラボはしもとで開催 相模原市が江成常夫「シャオハイの満州(大型)」「昭和・家族の肖像1976～1978」を収蔵 「相模原市・無錫市友好都市締結30周年記念 第24回相模原芸術家協会展」を相模原市民ギャラリーで開催
		10月	「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2015」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 鈴木理策「意識の流れ」 さがみはら写真アジア賞 張照堂「歳月」 さがみはら写真新人奨励賞 下道基行「torii」 さがみはら写真新人奨励賞 村越としや「火の粉は風に舞い上がる」

相模原の美術年表

2017/12/8更新

2016(平成28)年		Super Open Studio NETWORK主催「042 art area project2015 SUPER OPEN STUDIO」をアートラボはしもとで開催
	11月	市主催「第2回女流画家協会相模原展」を相模原市民ギャラリーで開催 相模原市が陶山定人「清爽」、吉村誠司「sai」を収蔵
	12月	相模原市が岡本太郎「初恋」を収蔵
	3月	岡本太郎壁画「初恋」をグリーンホール相模大野ロビーに設置
	8月	市主催「相模原市収蔵美術品展 遠藤彰子の世界展～COSMOS～」を市民ギャラリーで開催 市主催「第10期学生企画展 黄泉(よみ)とき！おばけずかん」をアートラボはしもとで開催
	9月	「創立25周年記念 相模原芸術家協会展」を相模原市民ギャラリーで開催
	10月	「相模原市総合写真展フォトシティさがみはら2016」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 船尾修「フィリピン残留日本人」 さがみはら写真アジア賞 オスカー・モトゥロー「SOULSCAPE ROAD(魂の道)」 さがみはら写真新人奨励賞 清水哲朗「New Type」 さがみはら写真新人奨励賞 西野壮平「TOKYO」
		Super Open Studio NETWORK主催「042 art area project 2016 SUPER OPEN STUDIO」をアートラボはしもとで開催
	11月	市主催「第70回記念女流画家協会相模原展」を相模原市民ギャラリーで開催 江成常夫が日本写真協会賞功労賞を受賞
	2017(平成29)年	1月
3月		光と緑の美術館で「相模原市収蔵写真展 江成常夫写真『ニューヨーク日記』より」開催 相模原市が江成常夫「生と死の時」を収蔵
8月		市主催「相模原市収蔵美術品展 江成常夫 生と死の時」を市民ギャラリーで開催 市主催「第11期学生企画展 アートdeぼうけん！ラポランド」をアートラボはしもとで開催
9月		「相模原市民ギャラリー開館20周年記念 相模原市・無錫市美術特別交流展 第26回相模原芸術家協会展」を相模原市民ギャラリーで開催
10月		「相模原市総合写真展フォトシティさがみはら2017」を実施。プロの部・アマチュアの部受賞作品展を相模原市民ギャラリーで開催 さがみはら写真賞 浜昇「沖縄という名」 さがみはら写真アジア賞 Delgerjargal Davaanyam「ENDLESS BEGINNING (終わりなき始まり)」 さがみはら写真新人奨励賞 金山貴宏「While Leaves Are Falling...」 さがみはら写真新人奨励賞 豊里友行「オキナワンプルー」 駐日モンゴル大使館よりフォトシティさがみはらの取り組みに対して感謝状が贈られる
		Super Open Studio NETWORK主催「SUPER OPEN STUDIO 2017」をアートラボはしもとで開催